

ひざし

2022 11
No. 285



えんゆう収穫感謝祭の様子

多くの「来場ありがとうございました!!」 JAえんゆう収穫感謝祭

JAえんゆうは、10月29日に銚えんがる葬祭駐車場にて収穫感謝祭を開催しました。

当日は始まる前から各売り場に長蛇の列が作られ、10時に花火の合図と共に賑わいました。

会場ではえんゆう産の玉葱や白滝じゃがなどの農産物をはじめ、よつ葉乳業㈱・森永乳業の乳製品詰合せ

各セット、大豆を使ったハンドクリーム等も販売しました。

また、乳製品消費拡大運動として、飲むヨーグルトの無料配布が行われ、あつという間に配布が終了してしまつ程の大盛況となりました。

来年も開催する予定となっておりますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。



玉葱・白滝じゃがは始まる前から長蛇の列ができていました



人参・ねぎ・ごぼうの各農産物は開始30分ほどで売



乳製品詰合せのブースはどちらの詰合せがいいか悩む人も

大豆を原料にしたハンドクリームの外に小豆など豆類の販売もありました

◆今月の主な記事◆

- ◎ JAえんゆう収穫感謝祭……………2
- ◎ 甜菜の収穫作業が始まりました
- ◎ 青しその蒸留作業が行われました
- ◎ 大豆の収穫作業が始まりました……………3
- ◎ 令和4年度公共牧場退牧作業
- ◎ 第21回JAえんゆうカップパークゴルフ大会の結果について
- ◎ 共済課よりお知らせ……………4
- ◎ 女性部酪農部会研修会
- ◎ JA女性部フレッシュユミズ酪農班研修会……………5
- ◎ 農協法公布記念日にあたって……………6
- ◎ JAグループ通信……………7
- ◎ 11月は労働保険適用促進強化月間です!!……………8
- ◎ 普及センターより……………9
- ◎ 理事会のあらまし
- ◎ 読者の声
- ◎ プレゼント付まちがい探し当選者発表……………10
- ◎ まちがいさがし……………11
- ◎ 秋の農事部懇談会開催について……………11
- ◎ 一日皆貯金週間です!!……………12

甜菜の収穫作業が始まりました

10月中旬から、えんゆう管内の各地区では砂糖の原料となる甜菜（ビート）の収穫作業が始まりました。

収穫作業は、トラクターに取り付けたビートハーベスターで、土に深く根付いた甜菜を掘り起こして収穫します。掘り起こされた甜菜は畑の横や自宅脇などに積み上げてシートで覆い、糖度を高めてから製糖工場へ運ばれます。

今年の収量は平年並みを確保できる一方、糖度は暖かい気候が続いていたため、低くなる見込みとなっております。

収穫作業は天候が良好なら、11月中旬まで行われる予定です。



ビートハーベスターで掘り起こします
(遠軽町白滝 菊地伸幸さん圃場)

青しその蒸留作業が行われました

10月上旬から、えんゆう管内の遠軽地区と生田原地区にて青しその蒸留作業が行われました。

蒸留作業は9月に収穫した日で乾燥させた青しそを、蒸留釜に隙間なく詰め込み、およそ1時間蒸気をあてて搾油します。蒸留が終わり蓋を開けると、温かい蒸気と一緒に、青しその良い香りが一面に立ち込めていました。

今年には青しその成育が良かったことから、遠軽・生田原両地区とも収量が平年よりも上回る見込みとなっております。

なお、搾油された油はJAを通じて出荷され、サラダのドレッシングや菓子類などの風味調味料として使われます。



釜から上げられた青しそからは
もくもくと湯気が

大豆の収穫作業が始まりました

10月中旬にえんゆう管内で、大豆の収穫作業が始まりました。

収穫作業は、専用のコンバイン機で大豆を刈取っていきます。今年は夏季の天候不順によって、収量が心配でしたが、収穫前の天候が良好だったことから平年並みを維持できる見込みとなっております。

収穫された大豆は大空町女満別にあるピーンズファクトリーへ運ばれ、選別・貯蔵されたあと製品として出荷されます。



大豆収穫作業の様子
(湧別町北兵村一区 高嶋慎一さん圃場)

令和4年度公共牧場退牧作業

10月20日から27日まで上湧別・遠軽・白滝・生田原各地区6つの公共牧場で、5月に放牧した牛たちを飼い主の牛舎や育成センターへ運び退牧作業が行われ、各地区合わせて646頭が飼い主たちの元へ帰りました。

朝から始まった退牧作業は、利用農家・JA・



白滝支湧別牧場



遠軽見晴牧場



生田原八重牧場



上湧別旭牧場



各関係機関の皆さんが、乗降場で1頭ずつ牧場ごとに仕分けを行い、家畜運搬車に載せていきました。中には公共牧場の環境が恋しくなったり、運搬車に乗るのを嫌がる牛もいましたが、職員たちの声かけなどに促され、公共牧場を後にしました。

退牧した牛たちが、それぞれの牛舎で活躍してくれることをご祈念申し上げます。

第21回J△えんゆうカップパークゴルフ大会の結果について

10月23日(日)、湧別町五鹿山パークゴルフ場において第21回J△えんゆうカップパークゴルフ大会を開催いたしました。

3年ぶりの開催となった今大会には、上湧別地区・遠軽町地区から多くの方々に集まっていたが、当日は73名(男子53名、女子20名)の方にご参加いただきました。

当日は気温9度と寒く、雨が降る中のタフなコンディションで大会が行われましたが、参加者の皆さんは和気あいあいとパークゴルフを楽しまれました。

上位結果は、下記の通りです。



今大会の優勝者

男子の部 石川武夫さん(写真左)
女子の部 河村美代さん(写真右)

順位	男	スコア	女	スコア
優勝	石川 武夫	96(グロス96、HD0)	河村 美代	100(グロス100、HD0)
準優勝	青柳 恒敏	97(グロス93、HD4)	沼田 京子	107(グロス107、HD0)
3位	辻 清美	97(グロス95、HD2)	上松 幸恵	108(グロス108、HD0)

[4コース パー132]

集乳旬報の読み方を勉強しました 女性部酪農部会研修会

えんゆう女性部酪農部会は、10月15日によつ葉乳業㈱十勝主管工場の渡邊誠治主任を講師に招き、集乳旬報の読み方について研修会を実施しました。

集乳旬報とは、酪農検定検査協会から10日に1度送られてくる牛群の健康管理表で、飼養管理する上で欠かせないものとなっています。研修会では、集乳旬報に記載されている各検査項目と数値の読み方について詳しく説明して頂きました。



普段から気になっていたことを質問

また、乳量の減少や生乳の風味異常などの原因になるケトーシスの改善方法も事例を挙げて説明して頂き、参加した部員は熱心に質問や意見を交わしていました。

JA女性部フレッシュエミズ酪農班研修会

えんゆう女性部フレッシュエミズ酪農班は、10月19日に佐呂間町の若里ジャーシーミルク工房アルボの視察研修をしました。

若里ジャーシーミルク工房アルボは、昨年8月に佐呂間町の旧若里小学校の跡地に工房兼カフェとして開設。「お腹がゴロゴロ鳴りこへい」とされているジャーシーA2ミルクを原料に、牛乳や乳製品を製造・販売しており、カフェを営業する日は多くの方が来店しています。



開設までの経緯を話してくれました

と店舗の概要、開設に至るまでの経緯を説明して頂き、カフェ内部をはじめ、生乳処理を行っている工場内部も見学させて頂くなど、有意義な研修となりました。

共済課よりお知らせ



自動車共済継続のご案内 共済証書の直送について

いつもJA共済をご利用いただき誠にありがとうございます。
自動車共済継続のご案内・共済証書につきまして、月に1度のクミカン郵便発送にて一緒に送付しておりましたが、11月作成分より、長期共済同様、JA共済連より直送になりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。

ご不明な点などございましたら共済課までお問い合わせくださいませ。

農協法公布記念日にあたって

北海道農業協同組合中央会 代表理事会長 小野寺 俊幸



昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で75年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、今日に至っております。

一昨年より、新型コロナウイルス

スという今まで経験したことのないウイルスが世界的に感染拡大し、社会・経済にも大きな影響を与えておりますが、経済活動は徐々に日常を取り戻しつつあります。

しかしながら、農業分野においては長引くコロナ禍の影響による農畜産物の消費の低迷、飼料・肥料等生産資材の高騰により農業・JAを取り巻く環境は厳しさを増しております。

思い返すと世界規模での新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、マスクの需要が急激に増加しましたが、その大部分を海外からの輸入に頼っていたことから、国内は深刻なマスク不足に陥ってしまいました。

コロナ禍において、いくつかの国が食料の輸出を制限しました。

幸いにも、それらの国から日本は食料を多く輸入していなかったため、今のところ大きな影響には至っておりませんが、何らかの問題が発生したとき、私たちの食料はどうなってしまうのか。私たちにとって大きな教訓となりました。

このことから、国民が必要とし消費する食料はできるだけその国で生産する「国消国産」という考え方は、消費者に知っていただきたい大切なテーマであり、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日、さらに1981年に国連が「世界食料デー」に定められた日である10月16日を、「国消国産の日」として制定し、令和3年に日本記念日協会に登録しました。

今こそ、この国消国産の周知、さらにはJA北海道大会で確認さ

れた550万人サポーターづくりを推進するべく、JAグループ北海道が一体となって「アグリアクシヨン北海道」と題した統一した取り組みをしっかりと実践することが必要となります。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様が夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることを誓い申し上げ、農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。





各団体の詳しい取り組み内容については、WEBサイトをご覧ください。

JA北海道中央会



◆HTB まつりにてJA カレーガチャを開催！

9月30日～10月2日の3日間、さっぽろ創世スクエアにてHTBまつり2022が開催され、JAグループ北海道では、米の消費拡大を目的にブースを出展しました。ブースでは「ガチャ」を活用し、1回1000円で道内JAのレトルトカレーやOnちゃんグッズが当たるイベントを行い、590回を超える参加をいただきました。



期間中は、「国消国産」に関するSNS投稿をした方が数量限定で挑戦できる無料ガチャ企画も行いました。ブースには、お笑い芸人錦鯉のお二人やイチモニ農園で米づくりに挑戦した田口彩夏アナウンサーも訪れ、大いに盛り上がりました。(本イベントの売上の一部は、子ども食堂に寄付いたします)

今後も食と農への理解を促し、サポーターづくりを進めるとともに、国消国産を広く周知するための情報発信を強化して参ります。

JA北海道信連



◆親子で学ぼう!あぐりキッチン教室

JAバンク北海道の食育活動として、JA・農協観光・上川生産連と連携して、親子で農産物の収穫・調理を体験するバスツアー企画を10月から12月に実施します。

稲刈りをして新米でおにぎりを作るなど、農業体験が初めての親子でも楽しめるプランを用意しています。

食への関心を高める企画を通じて、北海道農業のサポーターづくりを進めて参ります。



稲刈りの様子

JA共済連北海道



◆自動車共済お見積りキャンペーンを実施

JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しています。キャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で13,500名様にお掃除ロボットなど素敵な賞品を用意しています。

キャンペーンは令和5年3月31日(金)迄です。この機会にJA共済のホームページへのアクセスお待ちしております!



ホクレン



◆UHB テレビにてミニ番組スタート

ホクレンとUHBが共同制作したミニTV番組「それはまるでトリンドルな1日でした。」が9月6日よりスタートしました。放送は、毎週火曜日・午後9時54分からです。

農業現場に訪れたトリンドル玲奈さんが、農畜産物の調理・食事などを通じて、北海道農業の美しさや食材の魅力をお届けする新番組です。UHBの公式Youtubeチャンネルで配信中の長尺編と併せて、ぜひご視聴ください。



それはまるでトリンドルな1日でした。

JA北海道厚生連



◆看護師採用HPを開設

このたび、看護師採用専門ホームページを開設しました。それぞれの事業所を紹介しながら、地域医療を共に支えてくれる仲間を募集しています。

下記QRコードよりサイト閲覧が可能ですので、より多くの方々にアクセスをお待ちしています。

また、Twitter (@kouseihosp_ns)でも最新情報を発信していますので、チェックしてみてください。



11月は、労働保険適用促進強化期間です!!

*** 事業主の皆さん。労働保険の加入はお済みですか。**

*** 労働保険に加入して、従業員の方々が安心して働ける職場にしましょう。**

労働保険とは、労災保険と雇用保険の総称で、労働者の生活の安定、福祉の増進等を図ることを目的に、国が直接管理運営している保険です。農林水産業の一部を除き、労働者を一人でも雇用する事業については、法人・個人を問わず加入が義務づけられています。

*** 農業は、個人経営の事業で常時5人以上の労働者がいる場合適用事業所となり加入する義務があります。**

したがって常時5人未満については、暫定任意適用事業となります。(任意で加入可能)

*** 法人経営の事業は、常時一人でも労働者がいる場合適用事業所になります。**

問い合わせ先 厚生労働省北海道労働局総務部労働保険徴収課
(011-709-2311)

または最寄りの労働基準監督署・公共職業安定所

えんゆう農協の担当は、共済課（本所・各支所）です。

労働災害保険とJA傷害共済に加入してWの保障!!

ご存知のことと思いますが、農作業の機械化が進み、毎年度農作業中の事故が多数発生しております。

農業は、他の産業に比べて事故リスクが高い産業になっているのが現状です。

万一の農作業事故に備えて労災保険傷害共済に加入して下さい。

*** 特にアルバイト使用人等雇用労働者がいる事業主は必ず労災保険に加入して下さい。**

万一の時治療費は全額支払われますし、休業補償等も支払われます。それ以上に相手に対し変な気を使わずに治療に専念してもらえます。

労災保険・雇用保険のご相談は、共済課まで!!

園芸

「肥料高騰に向けた対策について」 現在の肥料情勢について

尿素、リン安、カリ等の主要輸入原料需給の逼迫や円安の影響で肥料価格が高騰しています。肥料費の削減には、土壌成分に応じた減肥及び施肥銘柄の検討が重要となります。土壌分析を活用し、肥料高騰の対策を講じましょう。

二 土壌pHと肥料の吸収率

施肥標準どおりに施肥しても「生育が悪い」「葉の色が薄い」等の症状が出ることもあります。原因の一つとして土壌pHが考えられる場合も多いです。例えば窒素は、土壌pH6〜8では溶解性・可溶性は変わりませんが、6を下回ると低下します。これは、土壌pHが低いほ場で窒素肥料を施しても吸収しにくくなることを示しています。

酸性					アルカリ性							
強酸性	弱酸性	微	中性	微	弱アルカリ性	強アルカリ性						
4.0	pH4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0
窒素 (N)												
リン酸 (P)												
カリウム (K)												
イオウ (S)												
カルシウム (Ca)												
マグネシウム (Mg)												
鉄 (Fe)・アルミニウム (Al)												
マンガン (Mn)												
ホウ素 (B)												
銅 (Cu)・亜鉛 (Zn)												
モリブデン (Mo)												

図 土壌pHと肥料成分の溶解性・可溶性 (トルオーグ1949より)

普及センターでも土壌pHの測定が可能ですので気軽に相談下さい。

三 肥料高騰に向けた対策

土壌中の養分以外に、たい肥等の有機物を活用することで、さらに減肥することが可能です。有機物中の具体的な肥料成分を把握する場合は、分析を行うことを推奨します。

施肥銘柄を変更することで、減肥、コスト削減をすることもできます。例えば、肥効調節型肥料(ロング・U.F・D.d・C.D.U等)は、施肥量の削減に加え、分施・追肥作業の労力軽減、燃料費の削減にもつながります。また、B.B肥料は化成肥料より低価格で使用できますが、土質により肥料成分が流亡しやすいほ場もありますので、使用の際は土質を確認し、検討しましょう(表を参照)。

減肥対策には、ほ場の養分を把握する必要があります。例えば、有効態リン酸や交換性カリが豊富なほ場では、リン酸、カリの減肥銘柄の使用が可能です。肥料高騰の対策に向けて土壌分析を行いましょう。

表 各肥料銘柄の選択

<p>○B.B肥料の使用 ⇒化成肥料と比較して低コストで施肥が可能 ※ただし、土質に注意する</p>
<p>○肥効調節型肥料の使用 ⇒施肥量の削減+労力・燃料費の削減</p>
<p>○リン酸、カリの豊富なほ場 ⇒高窒素のリン酸・カリ減肥銘柄の活用(せひらく、えこらくシリーズなど)・肥料費の削減</p>

畜産

病気にさせないほ乳管理を目指そう

生後1週間前後の子牛について免疫グロブリン量の指標となる血清総タンパク量(TP)測定値を夏と冬と比較してみました(表1)。TPが低く免疫グロブリン量が少ない牛の割合は冬の方が多く、疾病感染リスクが高くなっています。子牛を病気にさせないよう、ほ乳管理の見直しをおこないましょ。

良質な初乳を給与

子牛には生まれながら6時間以内に「良質な初乳」を「腹一杯飲ませる」ことで親からの免疫をしっかりと受け継がせることが重要です。

初乳は「比重計」や「糖度計」を使用して品質の判断をおこなってください。

良質な初乳の目安は次のとおりです。

表2 良質な初乳の判断目安

IgG濃度	50mg/ml以上*
比重	1.056以上** (基準測定温度20℃)
Brix値	22%以上** (乳温20℃換算)

* 根拠農業試験場 2013
** 根拠農業改良普及センター調べ 2013



写真 デジタル糖度計

表1 血清タンパク量 (TP) 測定値の分布 (普及センター調べ)

	TP (g/dl)			測定数
	~5.0	~5.5	5.5~	
6~8月	16%	28%	56%	n=141
12~2月	21%	36%	43%	n=126
免疫グロブリン量	不十分	ほぼ十分	十分	

また、初乳は1回に3リットル以上を飲ませましょう。生まれた子牛のほ乳意欲を優先しますが、待っても意欲がみられない場合は強制的に給与してください。

丈夫な子牛を産ませる

虚弱で生まれた子牛は生まれながらに自己免疫を産生する力が弱く、下痢や肺炎の発生が多い傾向にあります。丈夫な子牛を産ませるためにも、**乾乳牛の乾物摂取量を確保**することが重要です。

フリーストール、フリーバーン飼養では十分な飼槽幅を確保するほか、つなぎ飼養においても敷料を豊富に入れ、寝起きのしやすい飼養環境を整えましょう。

冬期には寒さへの対応のため、牛はより多くのエネルギーを必要とします。母牛の体調は初乳品質にも関連しますので、乾乳牛の管理には特に気を配ってください。

初乳製剤の積極利用を

初乳の品質が劣る場合、特に双子や初産牛の分娩時などには凍結保存した良質初乳を給与するほか、初乳製剤を積極的に利用してください。

初乳製剤は製品によって含まれる免疫グロブリン量が異なりますので、メーカー推奨ごとの濃度での給与をおすすめします。



理事会のあらまし

第9回理事会

(令和4年10月26日)

◇報告事項

1. 専門部会の開催結果について
2. 秋季地区別懇談会の開催について
3. 組合員の異動状況について
4. 砂糖制度・ルールの協議に係る経過と今後の対応について
5. 不祥事再発防止策取組状況報告(9月分)について
6. 第21回J A えんゆうカップパークゴルフ大会の結果について
7. 固定資産の修繕について
8. その他

◇議案

1. 令和4年度 賦課金の賦課徴収について
2. 原案通り承認されました。
3. 国産粗飼料利用拡大緊急酪農対策への上乗せ助成実施(案)について
4. 原案通り承認されました。
5. 一日皆貯金の実施について
6. 原案通り承認されました。
7. 育児及び介護休業規程の改正について
8. 原案通り承認されました。
9. 役員視察研修の実施について
10. 原案通り承認されました。

読者の声



毎回間違い探し楽しんで挑戦しております。朝・夕寒くなり雪虫が沢山飛んで冬の訪れを感じます。お互いお身体慈愛しましょう。

(匿名)

涼しさを通り越して朝晩が寒くなり、今朝も畑を見回りに家に入るとメガネが真っ白に。冬將軍が目の前まで来ているのですね。皆様も風邪など召しませんように。コロナ共々お気をつけて、やがて来る冬將軍を乗り切りましょう。

(匿名)

これから長い冬が訪れますので、冬支度を忘れずにしてください。

もうすぐおゆうぎ会。楽しみです。

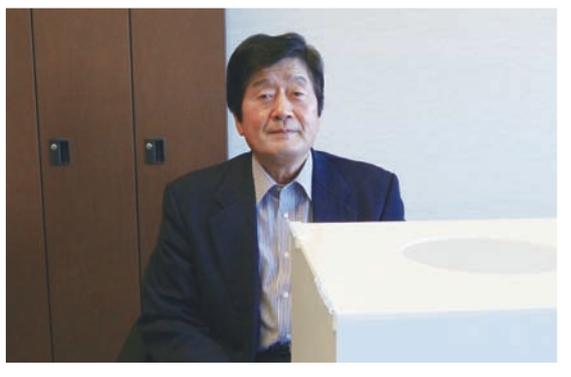
(匿名)

自分の出ばんになると、きんちょうすうすうと思いますが、楽しんでくださいな。

暑くなったり寒くなったり変な秋です。農作業も終わりに近くなります。事故にも気をつけて。

(匿名)

今年の農作業もあと少しですね。陽も短くなって寒さも強まりますので、農作業事故にご留意ください。



今月号の抽選は
佐藤直行代表監事でした

プレゼント付まちがい探し当選者発表

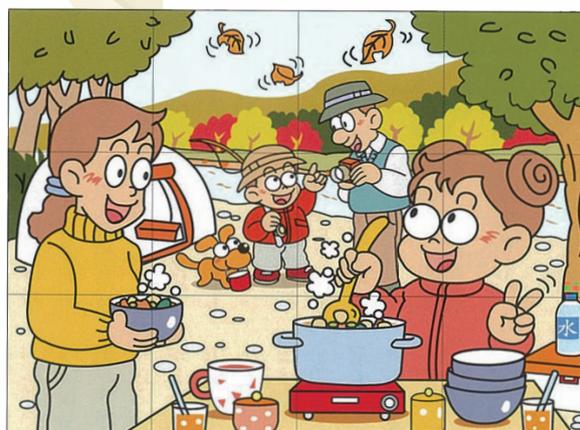
10月号の答えは「①④⑦⑩⑫」でした。
当選者は下記の方々です。

湧別町南兵村二区	池田 和子さん
湧別町北兵村一区	山田 忍さん
湧別町南兵村三区	穴戸 厚子さん
遠軽町生田原	鈴木 智子さん
遠軽町丸瀬布	上野 知代さん



まちがいさがし

右のイラストには左のイラストと違う部分があります。間違っている部分を左下の枠内の数字で探しましょう。



解答欄

--	--	--	--



11月のプレゼント付まちがい探しは、冬休み牛乳消費拡大運動として、牛乳贈答券1,000円分を5名の方にプレゼントいたします。たくさんのご応募、お待ちしております！！

出題・イラスト：酒井栄子

秋の農事部懇談会開催について

例年実施しております秋季農事部懇談会を下記の日程により開催いたします。日程上、都合の悪い場合は、本所営農課若しくは各支所までご連絡をお願いいたします。

【秋季農事部懇談会日程】

	午 前 10:00~12:00	午 後 13:30~15:30
11月28日(月)	開盛・札富美・旭 JA本所会議室	富美・上富美 JA本所会議室
11月29日(火)	4の3・5の1 JA本所会議室	屯市・5の2・5の3 JA本所会議室
11月30日(水)	4の1・4の2 JA本所会議室	遠軽・学田・清川 社名淵・瀬戸瀬 JA遠軽支所会議室
12月 1日(木)	安国・生田原・清里 JA生田原支所会議室	丸瀬布・白滝(※) 白滝国際交流センター コピエ

※丸瀬布・白滝地区の懇談会につきましては、13:45~となります。

11月7日(月)~11月18日(金)は 一日貯金週間です!!



- ★窓口にて受付しております
- ★専用封筒に住所・氏名・貯金種類・金額をご記入、通帳をご持参の上窓口までお越しください
- ★硬貨を持込する場合は集計にお時間を要しますのでご了承ください
- ★抽選で懸賞金が当たります

懸賞金	特賞	3本	10,000円
	金賞	5本	5,000円
	銀賞	10本	3,000円
	銅賞	70本	1,000円

JAえんゆう

本所 Tel01586-2-2160 中湧別支所 Tel01586-2-2004 遠軽支所 Tel0158-42-7221
 白滝支所 Tel0158-48-2311 生田原支所 Tel0158-45-2221

発行日 令和4年11月10日
 発行集 宮農相談課 宮農企画係
 印刷 株式会社 岡田印刷

〒099-6501 北海道紋別郡中湧別町上湧別中田町街地230番地
 TEL 01586-2-2161 / FAX 01586-2-4797
 ホームページ <https://www.ja-enyu.com/>
 メールアドレス ja-enyu@ja-enyu.jp